DW-Scan IV Service

Version 1.0

CSV 連携 KIT
取扱説明書

Rev1.3

始めに

このたびは、DW-Scan IV Service CSV 連携 KIT をご使用 購入いただき、誠にありがとうございます。

● この「 取扱説明書」は、DW-Scan IV Service CSV 連携 KIT の操作方法について記載してあります。

● DW-Scan IV Service の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、この「 取扱説明書 」を最後までお読みください。

● お読みになった後は、大切に保管してください。

● 機械をご使用中、不明な点がありましたら、この「取扱説明書」をご利用ください。

本書の内容は、「DW-Scan IV Service version 1.0」の取り扱いと操作について、ご理解いただいていることを前提に記述されています。
DW-Scan IV Service version 1.0 の取り扱いと操作で不明な点は、次の説明書を参照してください。

- 「DW-Scan IV Service version 1.0 取扱説明書」

本書の内容は、DocuWide 9095 αの取り扱いと操作について、ご理解いただいていることを前提に記述されています。
DocuWide 9095 αの取り扱いと操作で不明な点は、次の説明書を参照してください。

- 「DocuWide 9095 α ユーザーズガイド」

本書の記載事項は、事前通知無しに変更される場合も有りますので、予め ご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
③ 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
④ お客様が機器を運用された結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。

Windows Vista(TM) , Windows®XP , Windows®7 , Windows®8 , Windows®8.1 , Windows®Server 2003 R2 , Windows®Server 2008 , Windows®Server 2008 R2 は Microsoft® 社の登録商標です。
その他の社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

目次

第 1 章 概要

1.1 CSV 連携 KIT とは 2
1.1.1 主な機能 2
1.2 接続構成 3
1.2.1 必要な機器 3

第 2 章 インストール

2.1 インストールの方法 8
2.1.1 インストール 8
2.1.2 コントロールパネルからアンインストールする 10
2.1.3 インストール CD からアンインストールする 12

第 3 章 操作方法

3.1 CSV 連携設定ウィザード 16
3.1.1 スキャン指示情報ファイルの指定 16
3.1.2 スキャン進捗情報ファイルの生成 17
3.1.3 スキャン結果情報ファイルの生成 20
3.1.4 テンプレートの保存 22
3.2 CSV 連携の開始 24
3.2.1 手順 24
3.3 CSV 連携チェックイン 26
3.3.1 手順 26
3.4 CSV 連携マルチページの読み取り 30
3.4.1 手順 30
3.5 CSV 連携チェックアウト 31
3.5.1 手順 31
3.6 CSV 連携再度チェックイン 34
3.6.1 手順 34
3.7 ヘルプメニュー 37
3.7.1 環境設定 (CSV 連携設定) 37

第 4 章 エラーメッセージ

4.1 エラーメッセージ一覧.....40
4.1.1 CSV 連携設定ウィザード..... 40

第 5 章 注意 / 制限事項

5.1 注意 / 制限事項 44
5.1.1 スキャン指示情報ファイルの列数 44
5.1.2 スキャン結果情報ファイルの拡張子 44
5.1.3 データ転送中のシングルページ、マルチページ切り替え..... 44
5.1.4 MS-DOS デバイス名 44
5.1.5 「DW-Scan IV Service」のバージョンについて 44

第 1 章 概要

1.1　CSV 連携 KIT とは
1.2　接続構成

1.1 CSV 連携 KIT とは

CSV 連携 KIT とは、DW-Scan IV Service に以下のような機能を追加します。

1.1.1 主な機能

■ 連携処理

CSV 形式で記述された読み取り指示（スキャン指示情報ファイル）を DW-Scan IV Service に登録します。登録された読み取り指示を元に、読み取り作業（スキャン進捗情報ファイル）を生成します。読み取り作業を元に、原稿をスキャンすることによって読み取ったイメージデータと読み取り結果（スキャン結果情報ファイル）を保存します。

■ ウィザード形式による簡単な読み取り作業の設定

スキャン進捗情報ファイルを生成する際には、ウィザードを使用し、以下の指定が行えます。

- 保存するファイル名
- スキャン作業に表示させる任意の列データ
- スキャン結果情報ファイルに残す任意の列データ

さらに登録情報をテンプレートに保存し、それを呼び出す事で、迅速な登録ができます。

■ スキャン進捗情報ファイルに基づいた読み取り作業

スキャン進捗情報ファイルを開き、未実施の読み取り作業（ジョブ）を進めていくことで、作業の状態を把握しながら、スキャンを行うことができます。

- 読み取り未実施ジョブの自動抽出
- 読み取り完了後の確認作業
- 作業結果の一括処理

1.2 接続構成

DW-Scan IV Service CSV 連携を行うために必要な構成を以下に記述します。

1.2.1 必要な機器

■ スキャナ　　DocuWide 9095 α

■ CPU　　DOS/V 機（NEC の NX シリーズ除く）
Core2Duo 以上推奨
※ 1　page 4 を参照して下さい。

■ メモリ　　2GB 以上
※ 2　page 4 を参照して下さい。

■ USB　　USB2.0 インターフェース
※ 3　page 4 を参照して下さい。

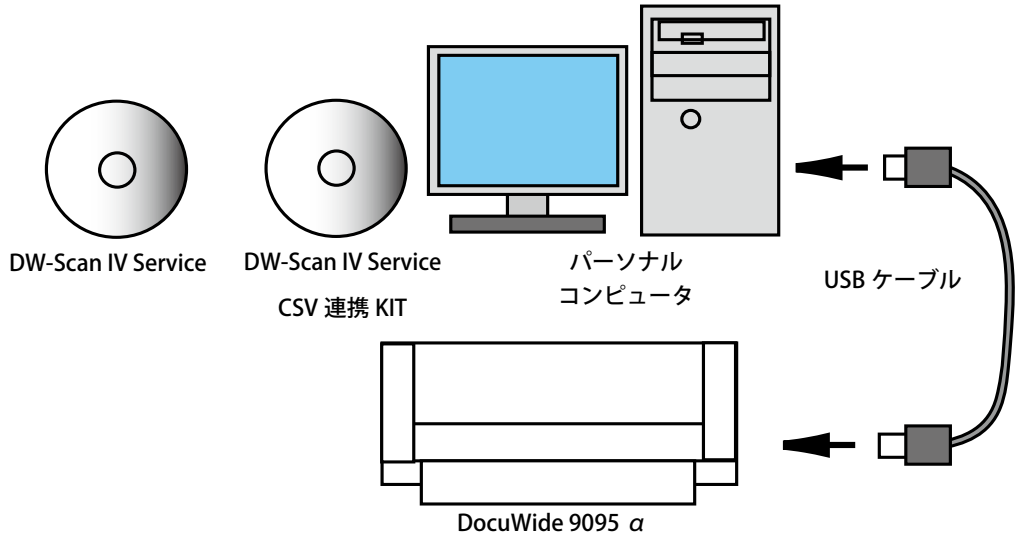
■ ハードディスク　　DW-Scan IV Service のインストールのみならば、およそ 60MB 程度。
アプリケーションの実行時作業領域として、フルカラー A0 サイズの場合、およそ 2GB 程度の空き容量が必要。

■ ディスプレイ　　XGA 以上（1024x768 以上の解像度）

■ OS　　※ 4　page 4 を参照して下さい。

■ DW-Scan IV Service アプリケーションプログラム
・DW-Scan IV Service Ver.1.0
・ DW-Scan IV Service CSV 連携 KIT Ver.1.0

■ DocuWorks アプリケーションプログラム (バージョン 6.0 以上)
(※ XDW 形式のファイルを扱う場合のみ必要)



※ 1 Microsoft 社の推奨システム要件を満たすシステムで運用して下さい。
Microsoft 社 Hardware CompatibilityList (HCL) に登録されている PC 以外での動作は保証出来ません。

※ 2 A0 サイズ、24 ビットカラーを扱う際は 64bit OS、4GB 以上のメモリ搭載を推奨します。

※ 3 USB2.0 規格に対応した長さ 5m 以下のケーブルを使用してください。
リピーターケーブルは使用しないでください。

※ 4 対応 OS の詳細は以下の様になります。（言語は日本語のみ）
記載されたエディション以外には対応していません。

クライアント OS:

OS	対応
Windows XP (SP2,SP3)	Home Professional (x86 , x64) ※ x64 の最新 SP は SP2 です。
Windows Vista (SP1,SP2)	Ultimate（ x86 , x64) Business（ x86 , x64)
Windows 7 (SP1)	Ultimate (x86 , x64) Professional (x86 , x64) Enterprise (x86 , x64)
Windows 8 / Windows 8.1	Pro (x86 , x64)

サーバ OS:

OS	対応
Windows Server 2003 R2 (SP2)	Standard (x86 , x64)
Windows Server 2008 (SP2)	Standard (x86)
Windows Server 2008 R2 (SP1)	Standard ※ 32bit 版はありません。

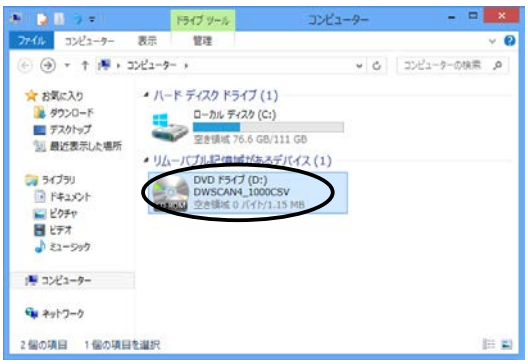
第 2 章 インストール

2.1　インストールの方法

2.1 インストールの方法

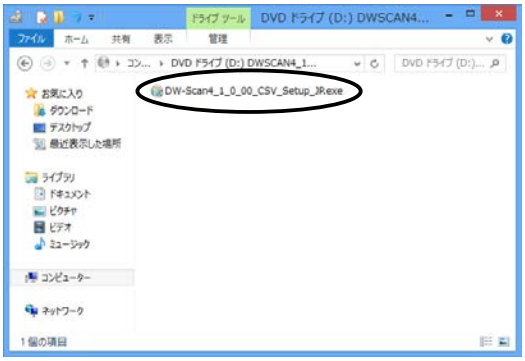
※ インストール作業は、システム管理者 (Administrator) の権限を持つユーザーでログインして行ってください。
※ DW-Scan IV Service Ver.1.0 を先にインストールしてください。

2.1.1 インストール

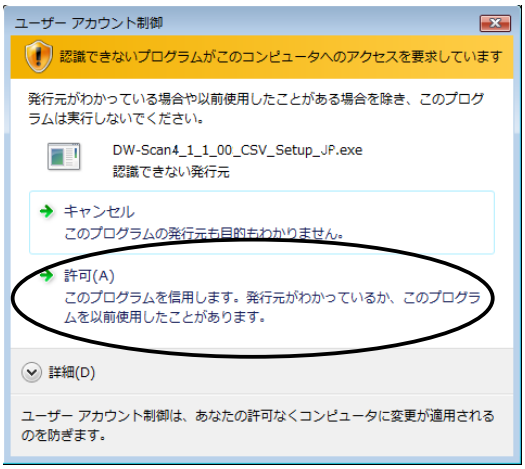


(1) インストールするパーソナルコンピュータに、システム管理者の権限でログインします。

(2) インストール CD を CD ドライブに挿入し、CD-ROM を開いてディスクの内容を表示させます。

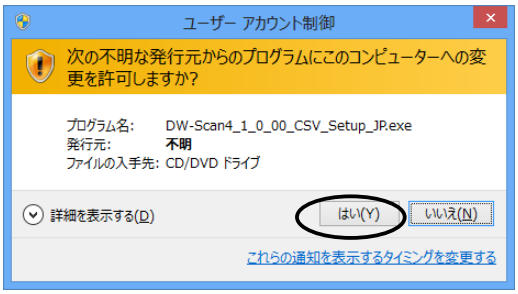


(3) DW-Scan4_1_0_00_CSV_Setup_JP.exe をダブルクリックしてインストールプログラムを起動します。



(4) Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合、ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。

・Windows Vista の場合、「許可 (A)」を選択してください。



・Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合、「はい (Y)」を選択してください。

(5) セットアップが始まります。
「次へ (N)」ボタンをクリックします。

(6) 保証規定が表示されます。規定に同意されるなら、「同意する (A)」ボタンをクリックします。
DW-Scan IV Service のプログラムが入っているフォルダにインストールが行なわれます。

(7) 「完了」ボタンをクリックするとインストール作業は完了します。

以上でインストールは終了しました。
DW-Scan IV Service を起動すると、CSV 連携機能が利用できるようになります。

2.1.2 コントロールパネルからアンインストールする

(1) コントロールパネルを開いて「プログラムのアンインストール」をダブルクリックします。

(2) 「DW-Scan IV Service for CSV 1.0」を選択してアンインストールをクリックします。

(3) 「続行 (C)」を選択してください。

※この表示は Windows Vista のみ表示されます。

(4) DW-Scan IV Service 1.0 CSV 連携 KIT が起動していないことを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00 アンインストール
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00のアンインストール
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00をこのコンピュータから削除します。
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00は、以下のフォルダからアンインストールされます。アンインストールを始めるには [アンインストール] をクリックして下さい。
アンインストール元: C:¥Program Files¥DW-Scan IV Service 1.0.04¥
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00
< 戻る(B)
アンインストール(U)
キャンセル

(5) アンインストール確認のダイアログが表示されます。「アンインストール」ボタンをクリックするとアンインストールが開始されます。
「キャンセル」ボタンで取り消します。

DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00 アンインストール
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00 アンインストール ウィザードは完了しました。
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00は、このコンピュータからアンインストールされました。
ウィザードを閉じるには [完了] を押してください。
< 戻る(B)
完了(F)
キャンセル

(6) アンインストール完了のダイアログが表示されたら、「完了」ボタンをクリックして終了します。

以上でアンインストールは終了しました。

Note:　CSV 連携 KIT をアンインストールしても、DW-Scan IV Service は利用することが出来ます。

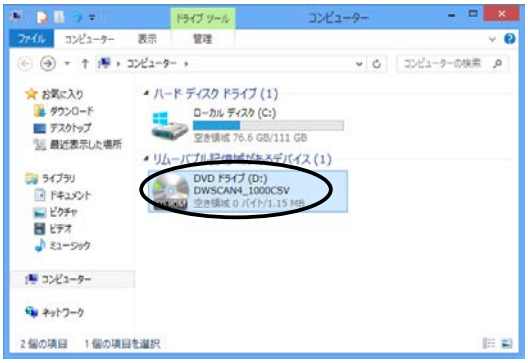
Note:　CSV 連携 KIT をアンインストールしても、スキャン進捗情報ファイル、ラベル、テンプレートは削除されません。
削除したい場合は、下記フォルダを削除してください。フォルダは使用している OS によって異なります。

・Windows XP / Windows Server 2003 R2 の場合
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\YouthEngineering\DW-Scan IV Service1.0\job

・Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合
C:\ProgramData\YouthEngineering\DW-Scan IV Service1.0\job

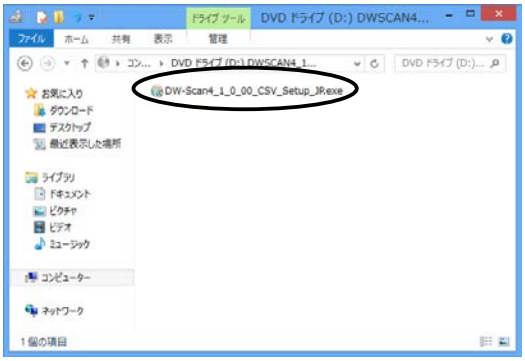
「Application Data」または「ProgramData」は隠しフォルダになっています。見つからない場合はフォルダオプションから「すべてのファイルとフォルダを表示する」が有効になっていることを確認して下さい。

2.1.3 インストール CD からアンインストールする

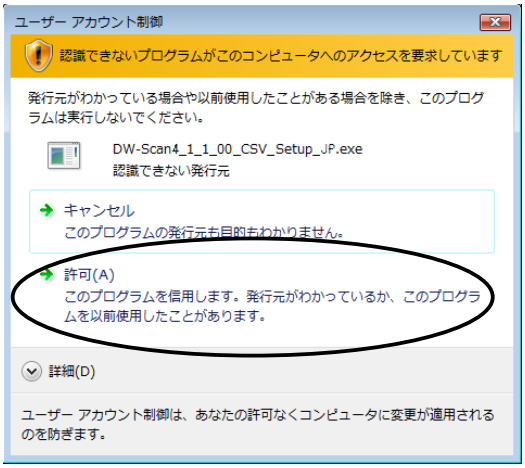


(1) インストールするパーソナルコンピュータに、システム管理者の権限でログインします。

(2) インストール CD を CD ドライブに挿入し、CD-ROM を開いてディスクの内容を表示させます。

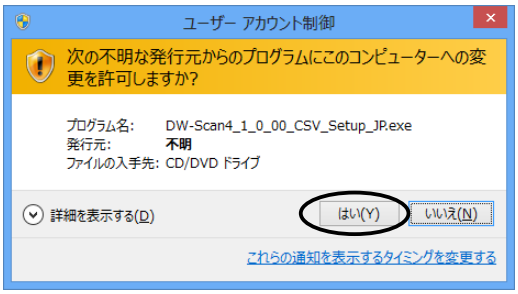


(3) DW-Scan4_1_0_00_CSV_Setup_JP.exe をダブルクリックしてインストールプログラムを起動します。

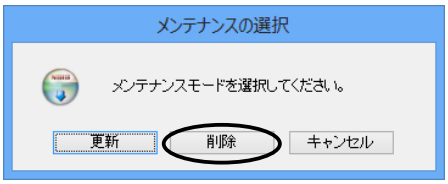


(4) Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合、ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されます。

・Windows Vista の場合、「許可 (A)」を選択してください。

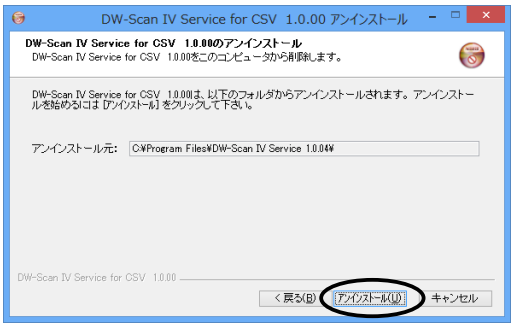


・Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合、「はい (Y)」を選択してください。



(5) 「削除」ボタンをクリックします。

(6) DW-Scan IV Service 1.0 CSV 連携 KIT が起動していないことを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



(7) アンインストール確認のダイアログが表示されます。「アンインストール」ボタンをクリックするとアンインストールが開始されます。
「キャンセル」ボタンで取り消します。

DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00 アンインストール
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00 アンインストール ウィザードは完了しました。
DW-Scan IV Service for CSV 1.0.00は、このコンピュータからアンインストールされました。
ウィザードを閉じるには [完了] を押してください。
< 戻る(B)
完了(F)
キャンセル

(8) アンインストール完了のダイアログが表示されたら「完了」ボタンをクリックして終了します。

以上でアンインストールは終了しました。

Note: CSV 連携 KIT をアンインストールしても、DW-Scan IV Service の基本機能は利用することが出来ます。

Note: CSV 連携 KIT をアンインストールしても、スキャン進捗情報ファイル、ラベル、テンプレートは削除されません。
削除したい場合は、下記フォルダを削除してください。フォルダは使用している OS によって異なります。

・Windows XP / Windows Server 2003 R2 の場合
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\YouthEngineering\DW-Scan IV Service1.0\job

・Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合
C:\ProgramData\YouthEngineering\DW-Scan IV Service1.0\job

「Application Data」または「ProgramData」は隠しフォルダになっています。見つからない場合はフォルダオプションから「すべてのファイルとフォルダを表示する」が有効になっていることを確認して下さい。

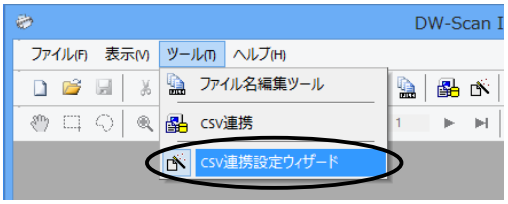
第 3 章 操作方法

3.1　CSV 連携設定ウィザード
3.2　CSV 連携の開始
3.3　CSV 連携チェックイン
3.4　CSV 連携マルチページの読み取り
3.5　CSV 連携チェックアウト
3.6　CSV 連携再度チェックイン
3.7　ヘルプメニュー

3.1 CSV 連携設定ウィザード

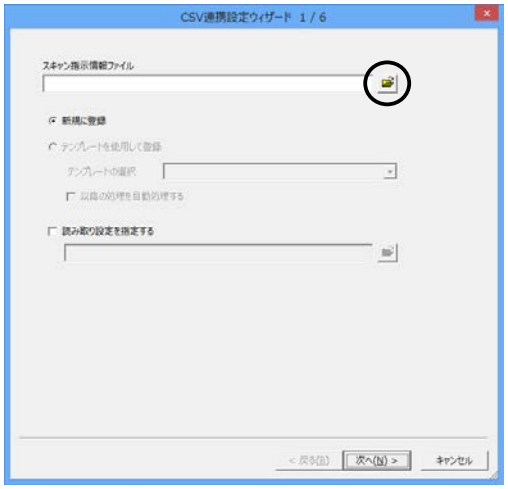
CSV 連携設定ウィザードについて記述します。

3.1.1 スキャン指示情報ファイルの指定



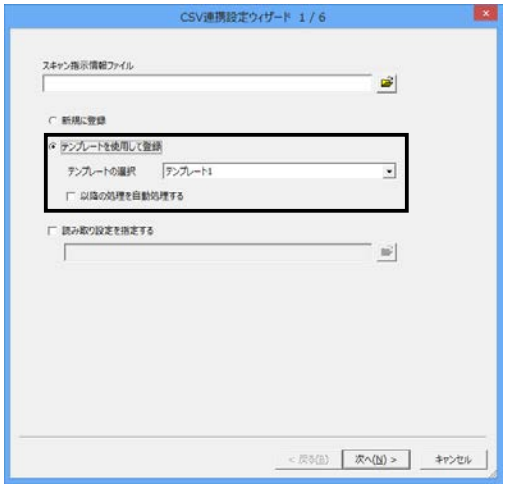
(1) ツールメニューから「CSV 連携設定ウィザード」を選択します。

Note：ツールバーの「CSV 連携設定ウィザード」ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。



(2) 設定ウィザード画面が表示されます。

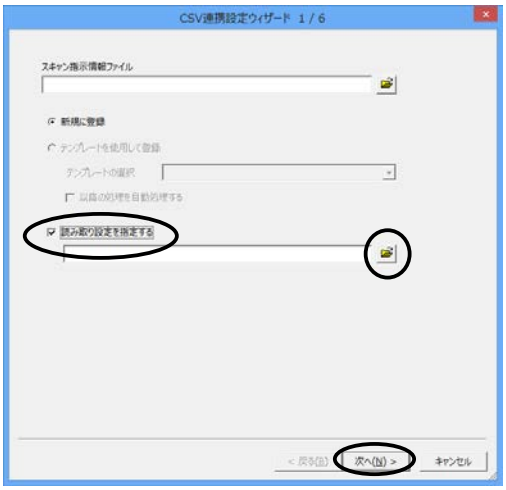
(3) をクリックして、スキャン指示情報ファイル（CSV 形式）を選択します。



Note：「テンプレートを使用して登録」を指定すると、「3.1.2 スキャン進捗情報ファイルの指定」「3.1.3 スキャン進捗情報ファイルの指定」で行う内容が、自動的に指定されます。
テンプレートは、CSV 連携設定ウィザード終了時に保存することができます。詳しくは「3.1.4 テンプレートの保存」を参照してください。

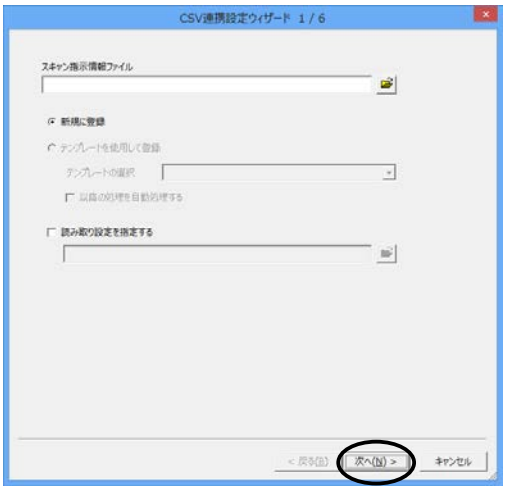
テンプレートが存在しない時は、選択することが出来ません。

「以降の処理を自動処理する」にチェックした場合は、CSV 連携設定ウィザードの最終項目「3.1.4 テンプレートの保存」まで、自動的に処理を行います。



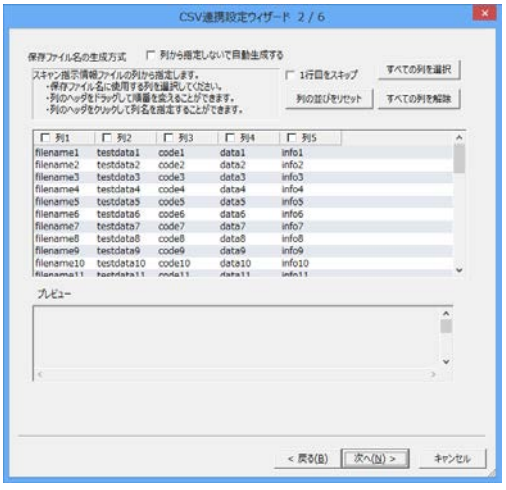
(4) 読み取り設定ファイル（.dw4 形式）がある場合は、「読み取り設定を指定する」にチェックを行い、 をクリックして読み取り設定ファイルを選択します。

Note：標準設定を使用する場合は、読み取り設定を指定する必要はありません。読み取り設定を指定した場合でも、チェックイン画面にて読み取り設定の変更は可能です。

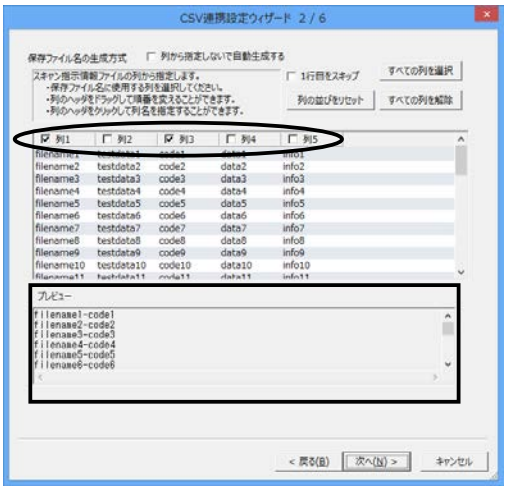


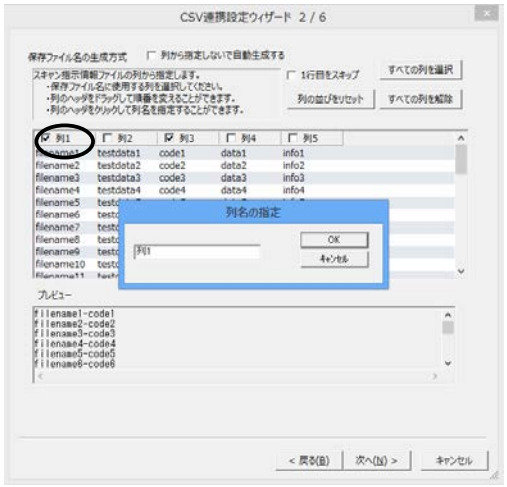
(5) 「次へ」ボタンをクリックします。

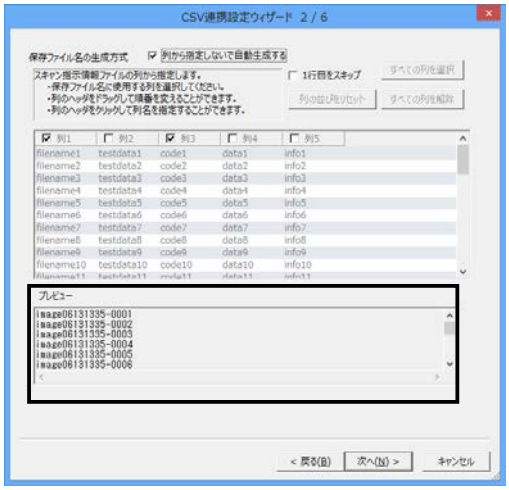
3.1.2 スキャン進捗情報ファイルの生成



(6) スキャン指示情報ファイルのデータが表示されます。
列から指定または自動生成によって、保存ファイル名を指定します。





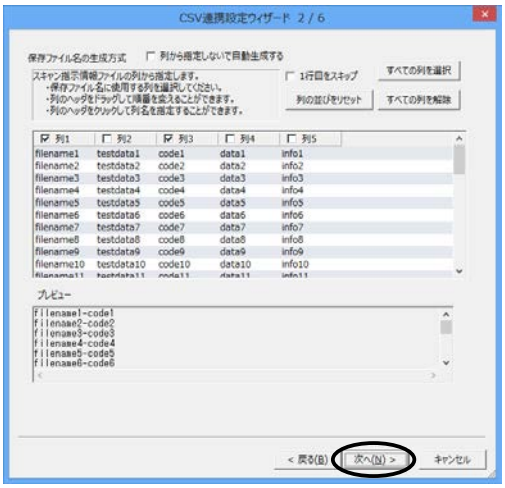


(7) 保存ファイル名を列から指定する場合、ファイル名は選択した列のデータを結合文字「ハイフン (-)」で繋いだものになります。
ファイル名として使用したい列のヘッダにチェックします。
列の順番を変えるには、列のヘッダをマウスでドラッグして入れ替えます。
指示に基づいて、保存ファイル名をプレビューに表示します。プレビューで確認しながら以下の設定を行います。

・列名の変更
列名を変更したい場合は列のヘッダのチェックボックス以外の部分をクリックすると列名の変更 (最大 32 文字) が行えます。
・全ての列を選択
全ての列がチェックされます。
・全ての列を解除
全てのチェックが解除されます。
・列の並びをリセット
列の順番をファイルの並び順にリセットします。
・1 行目をスキップ
チェックすると、スキャン指示情報ファイルの 1 行目がスキップされ、使用されません。

Note: 列を接続する結合文字は環境設定の「保存ファイル名生成　結合文字」で変更できます。環境設定については「3.7.1 環境設定 (CSV 連携設定)」を参照してください。

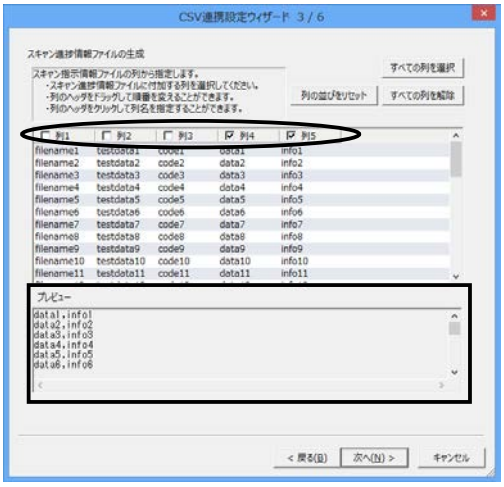
(8) 保存ファイル名を自動で生成する場合、「列から指定しないで自動生成する」をチェックすると、image から始まるファイル名が自動的に生成されます。



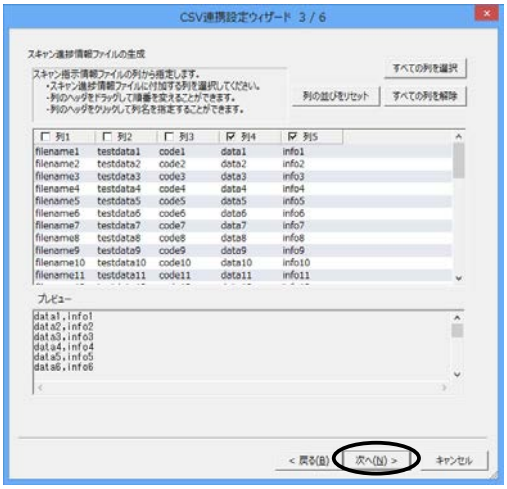
(9) 「次へ」ボタンをクリックします。

Note: クリック後、以下のチェックを自動的に行います。
・ファイル名に使用できない文字 (\ / : , ; * ? " < > | ¥ ~) が含まれないか。
・ファイル名の文字列長が環境設定で設定した文字数以下か。
・ファイル名が他の行と重複しないか。
・ファイル名に MS-DOS デバイス名が含まれてないか。

妥当性に問題なければ、次の画面に移行します。環境設定については「3.7.1 環境設定 (CSV 連携設定)」を参照してください。

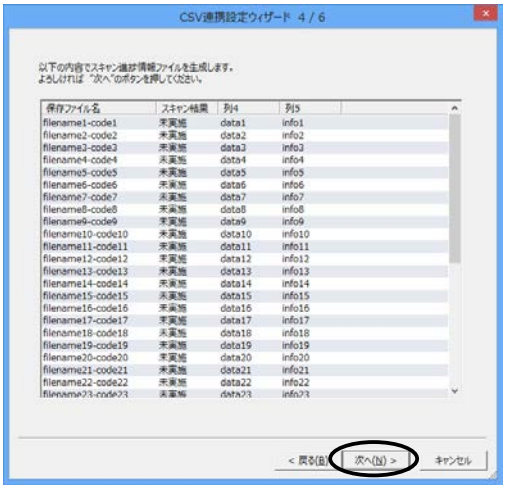


(10) スキャン指示情報ファイルのデータがもう一度表示されます。
スキャン進捗情報ファイルに付加する任意の列のヘッダにチェックします。
指示に基づいて、スキャン進捗情報ファイルに付加する内容をプレビューに表示します。
(7) の保存ファイル名の指定と同様に、列の順番の変更、列名の変更、全ての列を選択、全ての列を解除、列の並びをリセットができます。



Note: この列の指定は、ファイル名には使用しないが、読み取りの際に識別を行うなどの目的に使用できます。
ファイル名以外必要ない場合は、選択を行わなくても、次へ進むことが出来ます。

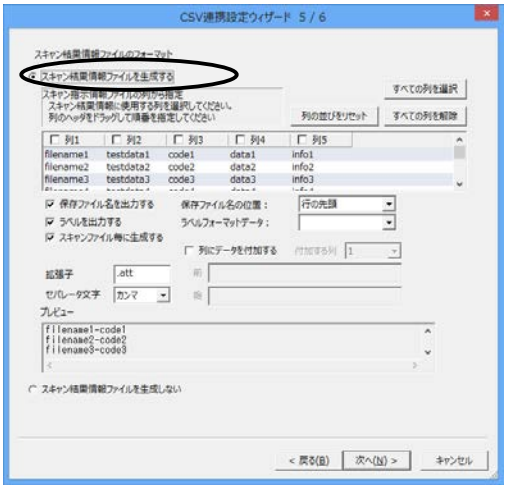
(11) 「次へ」ボタンをクリックします。



(12) ここまでに指定した内容が表示されます。もし希望通りでなければ、「戻る」ボタンをクリックして、指定をやり直すことができます。

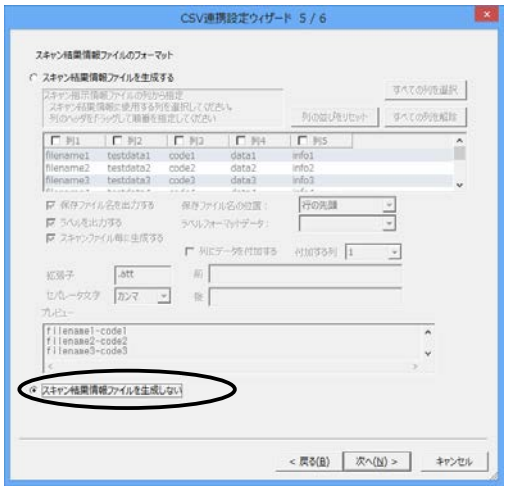
(13) 指定に問題がなければ「次へ」ボタンをクリックします。

3.1.3 スキャン結果情報ファイルの生成



(14) スキャン結果情報ファイルの指定を行います。

Note: スキャン結果情報ファイルは、読み取りを行い、保存先に転送される際に、読み取りに関する情報として同時に転送される CSV 形式のデータです。



(15) スキャン結果情報ファイルを生成しない場合は、「スキャン結果情報ファイルを生成しない」をチェックし、手順 (17) に進んでください。

(16) スキャン結果情報ファイルに追加するデータを選択します。
列の順番を変えるには、列のヘッダをマウスでドラッグして入れ替えます。
指示に基づいて、スキャン結果情報ファイルに出力する内容をプレビューに表示します。プレビューで確認しながら以下の設定を行います。

・列名の変更
列名を変更したい場合は列のヘッダのチェックボックス以外の部分をクリックすると列名の変更 (最大 32 文字) が行えます。
・全ての列を選択
全ての列がチェックされます。
・全ての列を解除
全てのチェックが解除されます。
・列の並びをリセット
列の順番をファイルの並び順にリセットします。
・保存ファイル名を出力する
スキャン結果情報ファイルに保存ファイル名を出力します。
・保存ファイル名の位置
保存ファイル名の列が「行の先頭」か「行の最後」かを選択します。

・ラベルを出力する
スキャン結果情報ファイルの 1 行目にラベルデータ出力します。

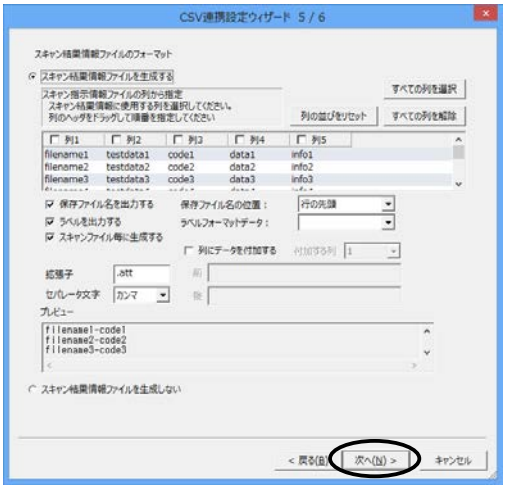
Note: ラベルはあらかじめ以下のフォルダの中に作成したテキストファイル（拡張子「.txt」）を入れておく事で、選択することが出来ます。（フォルダは使用している OS によって異なります。）

・Windows XP / Windows Server 2003 R2 の場合
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\YouthEngineering\DW-Scan IV Service1.0\job\label

・Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合
C:\ProgramData\YouthEngineering\DW-Scan IV Service1.0\job\label

「Application Data」または「ProgramData」は隠しフォルダになっています。見つからない場合はフォルダオプションから「すべてのファイルとフォルダを表示する」が有効になっていることを確認してください。

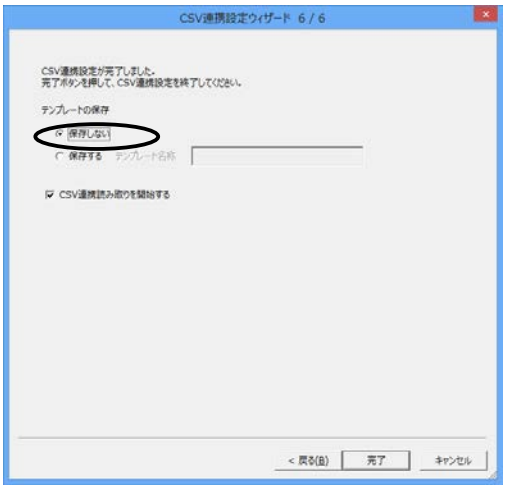
・スキャンファイル毎に生成する
チェックをした場合、1 つのスキャンファイルに対して 1 つのスキャン結果情報ファイルを生成します。(スキャン結果情報ファイルのファイル名は、スキャンファイルと同じファイル名が適用されます。) チェックを外すと、1 回のチェックイン中にスキャンした全ファイルに対して 1 つのスキャン結果情報ファイルに生成します。(スキャン結果情報ファイルのファイル名は、スキャン進捗情報ファイルと同じファイル名が適用されます。)



・拡張子
拡張子を設定します。
・セパレータ文字
列を区切る文字を指定します。
・列にデータを付加する
選択した列の前後に、文字列を付加することが出来ます。（複数の列を指定することは出来ません。）

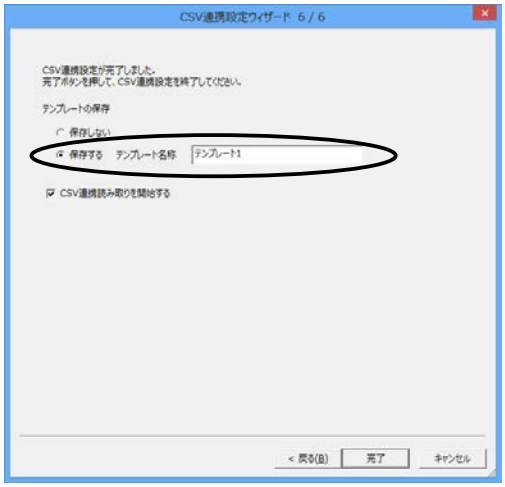
(17)「次へ」ボタンをクリックします。

3.1.4 テンプレートの保存



(18) CSV 連携設定をテンプレートに保存することができます。保存したテンプレートは、「3.1.1 スキャン指示情報ファイルの指定」にて、テンプレートとして指定することができます。

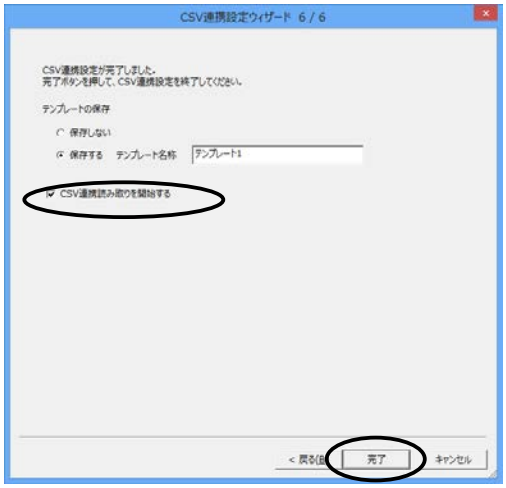
テンプレートを保存しない場合は、「保存しない」をチェックし、手順 (19) に進んでください。



テンプレートを保存する場合、次回同様な設定でスキャン進捗情報ファイルを生成する際に、各ステップで指定する手間を省くことができます。
「保存する」をチェックし、「テンプレート名称」に保存するテンプレートの名称を入力します。

テンプレートに保存できる設定は以下のとおりです。

- 保存名の列選択 / 順番
- 1 行目のスキップ
- スキャン進捗情報ファイルに付加する列の指定
- スキャン結果情報ファイルの生成有無
- スキャン結果情報ファイルの各指定
（列選択 / 順番 / 保存ファイル名 / ラベル出力 / スキャンファイル毎に生成 / 拡張子 / セパレータ)



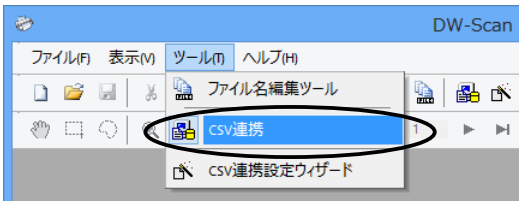
(19) 「完了」ボタンをクリックすることで、指定したスキャン進捗情報ファイルが作成され、ウィザードが完了します。

Note:「CSV 連携読み取りを開始する」をチェックして、「完了」ボタンをクリックすると、生成したスキャン進捗情報ファイルを開いて、引き続き CSV 連携を開始することができます。

3.2 CSV 連携の開始

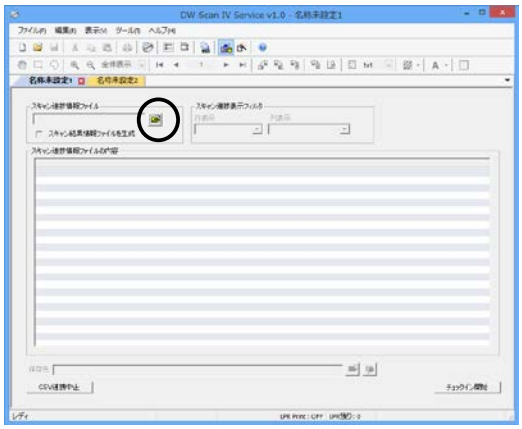
CSV 連携の開始方法について記述します。

3.2.1 手順



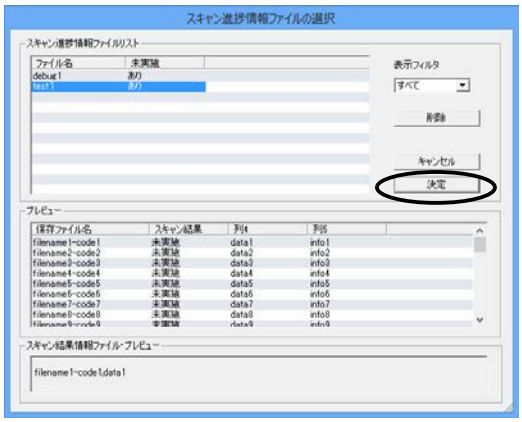
(1) ツールメニューから「CSV 連携」を選択します。

Note：ツールバーの「CSV 連携」ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。



(2) CSV 連携画面が表示されます。

(3) をクリックすると、スキャン進捗情報ファイルを選択するウィンドウが開きます。

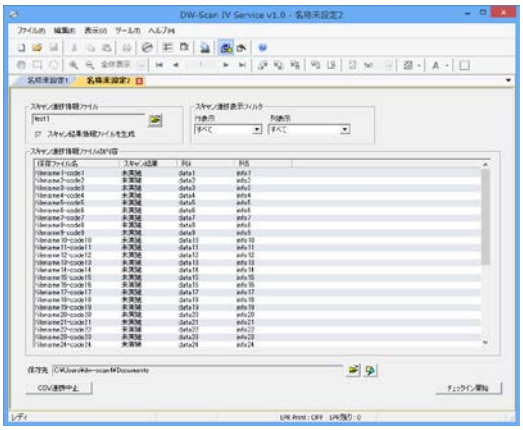


(4) 作業を開始したいスキャン進捗情報ファイルを選択し、「決定」ボタンをクリックします。

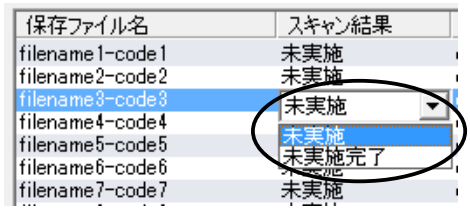
Note: すでに開いているスキャン進捗情報ファイルは、この一覧に表示されません。

Note:「表示フィルタ」を切り替えることで、未実施項目のあるスキャン進捗情報ファイルを抽出して表示することができます。

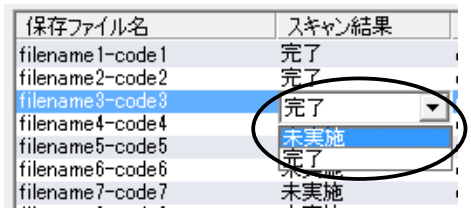
Note: 不要になったスキャン進捗情報ファイルを削除するときは、該当するスキャン進捗情報ファイルを選択し、「削除」ボタンをクリックします。



(5) 指定したスキャン進捗情報ファイルの内容が表示されます。

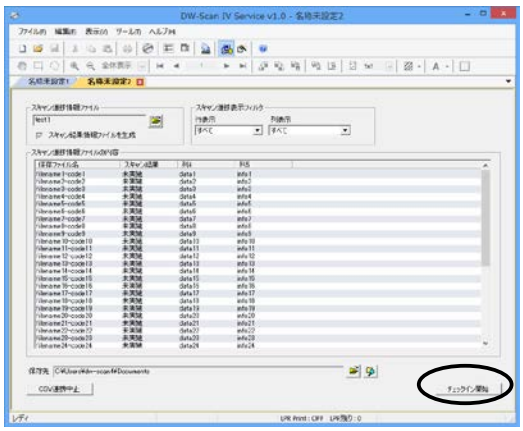


Note: スキャン結果をクリックすると、ポップアップメニューが表示されて、状態を「未実施」から「未実施完了」変えることができます。チェックインを行った時、スキャン結果が「未実施」のジョブのみが、スキャンリストに表示されます。



「スキャン結果情報ファイルを生成しない」の設定をした場合は、「完了」ジョブを「未実施」に変更することが出来ます。

※「未実施完了」、「未実施」のジョブを「完了」に変更することは出来ません。



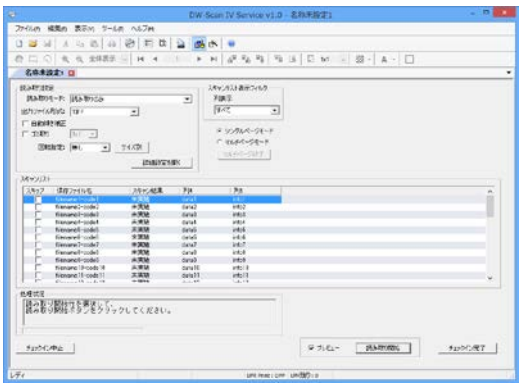
(6)「チェックイン開始」ボタンをクリックすると、チェックイン画面に切り替わり、読み取り作業を開始できます。

(7)「CSV 連携中止」ボタンをクリックすると、スキャン進捗情報ファイルを閉じて、CSV 連携画面から、通常の読み取り画面に切り替わります。

3.3 CSV 連携チェックイン

CSV 連携のチェックイン画面について記述します。

3.3.1 手順



(1) 3.2 を参照してチェックイン画面に切り替えます。

(2) スキャン進捗情報ファイルの中から、未実施になっているジョブが抽出されてスキャンリストに表示されます。

(3) 読み取り設定を設定します。
「読み取りモード」は、通常の読み取り設定と同じです。詳しくは、別冊の「DW-Scan IV Service Version 1.0 取扱説明書」をご覧ください。

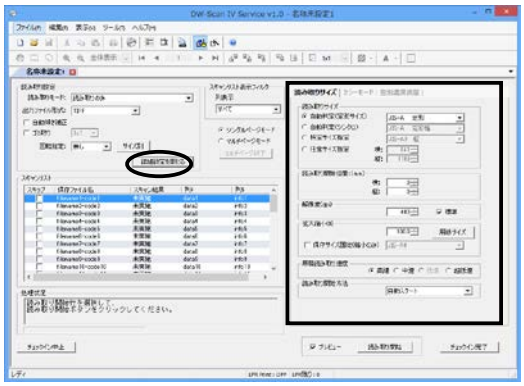
(4) 「出力ファイル形式」に TIFF/PDF/JPEG/XDW のいずれかを指定します。チェックアウトをする全ての文書がこのフォーマットで保存されます。

Note:DocuWorks が設置されていない場合は TIFF/PDF/JPEG の選択となり、XDW は表示されません。

Note:DocuWorks のバージョンによって、XDW 形式を指定する際、カラーモードに赤黒 (2 値)、赤黒擬似階調 (2 値) は指定できません。詳しくは別冊の「DW-Scan IV Service Version 1.0 取扱説明書」をご覧ください。

Note:JPEG 形式は、シングルページモードで、カラーモードがグレースケールまたはフルカラーの場合のみ指定できます。

(5) 「自動傾き補正」「ゴミ取り」「回転指定」などを必要に応じて設定します。



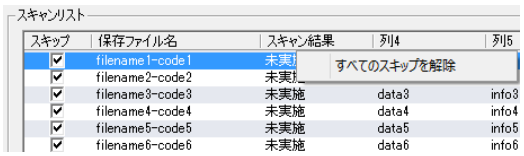
(6) 「詳細設定を開く」/「詳細設定を閉じる」ボタンをクリックすることで、「詳細設定パネル」の表示 / 非表示が切り替わります。詳細設定パネルでは、詳細な読み取り設定を行うことができます。

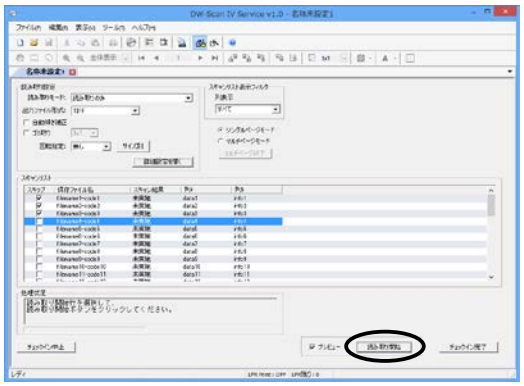
Note: 詳細設定パネル (読み取りサイズ / カラーモード / 色別濃度調整) については、別冊の「DW-Scan IV Service Version 1.0 取扱説明書」をご覧ください。

(7) 各ジョブの行「スキップ」をチェックすると、そのジョブの読み取りは自動的にスキップされます。

Note: 読み取りする原稿がない場合などに使用します。

Note: リスト上で右クリックすると、「すべてのスキップを解除」が実行できます。チェックしたすべてのジョブのスキップ解除を簡単にすることできます。

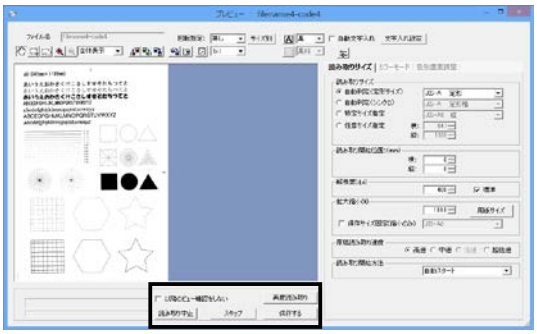




(8) 原稿の読み取り後、保存する前に画像を表示して確認したい場合は、「プレビュー」をチェックしてください。読み取りを開始するジョブの行を選択して、「読み取り開始」ボタンをクリックします。

Note: 読み取りを開始した後は、開始するジョブの行やスキップ指定は変更できません。

(9) スキャナ機器に原稿を挿入し読み取りを行います。



(10) 「プレビュー」にチェックがある場合、原稿を読み取り後にプレビューが表示されます。

「保存する」
読み取りを保存して次のジョブに移ります。
(マルチページ読み取り中は、次のページに移ります。)

「再度読み取り」
読み取りを破棄して、もう一度読み取りを行います。
（ジョブは次に移りません）

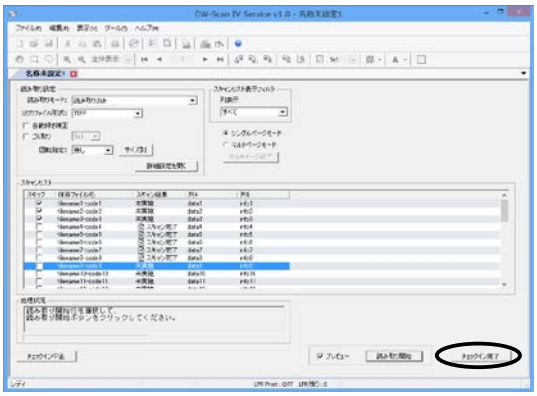
「スキップ」
読み取りを破棄してスキップします。
（ジョブは次に移り、そのスキャン結果はスキップとして表示されます）

「読み取り中止」
読み取りを破棄して読み取りを中止します。（ジョブは次に移りません）

「以降のビュー確認をしない」
チェック時、以降の読み取りはビュー確認無しで読み取り、保存を行います。

をクリックすると、詳細設定パネルの表示 / 非表示が切り替わります。

Note: CSV 連携のプレビューウィンドウでは、ファイル名の変更はできません。
その他の操作については別冊の「DW-Scan IV Service Version 1.0 取扱説明書」をご覧ください。



(11) 順次スキャナ機器に原稿を挿入し、読み取り / 保存します。スキャンリストのスキャン結果は「スキャン完了」に切り替わっていきます。

(12) 全ての読み取りが終わったら、自動的に読み取りが中止されます。
途中で読み取りを中止する場合は、「読み取り中止」ボタンをクリックします。

読み取ったジョブを保存する場合、「チェックイン完了」ボタンをクリックします。

Note: 環境設定の「チェックイン完了時の動作」の設定によって、「チェックイン完了」ボタンをクリックした後の処理が違います。

「チェックアウト画面を表示する」を指定してる場合、保存の前に読み取ったジョブを確認することができます。詳しくは「3.5 CSV 連携チェックアウト」を参照してください。

「直ちにチェックアウトする」を指定している場合、チェックアウト画面に移行せずに、読み取ったジョブは保存されます。

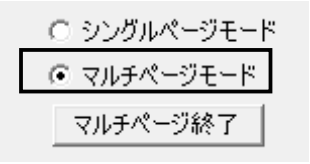
環境設定については、「3.7 CSV 連携環境設定」を参照してください。

(13) 「チェックイン中止」ボタンをクリックすると、チェックイン画面を閉じて、CSV 連携画面に切り替わります。この場合、スキャン完了したジョブは全て破棄されます。

3.4 CSV 連携マルチページの読み取り

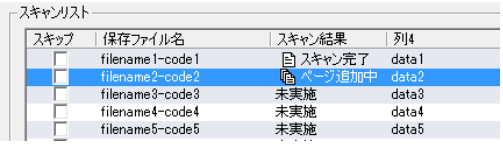
チェックイン画面および再度チェックイン画面での、マルチページの読み取りについて記述します。

3.4.1 手順

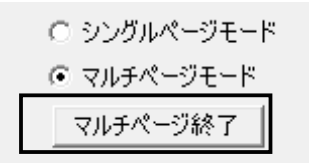


(1) 「シングルページモード / マルチページモード」の選択を「マルチページモード」にします。
これで、現在のジョブはマルチページとして読み取りが行われ、原稿を挿入して保存を行っても次のジョブには移らなくなります。

Note: JPEG 形式ではマルチページモードを指定できません。

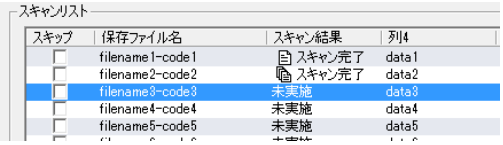


(2) スキャン結果は、「ページ追加中」の表示になります。



(3) マルチページを終えるには、「マルチページ終了」ボタンをクリックします。

Note:「シングルページモード」に切り替えることでも、マルチページ終了を指示できます。この場合、シングルページモードに切り替えるか確認メッセージが表示されます。



(4) スキャン結果は「スキャン完了」に変わり、ジョブは次に移ります。

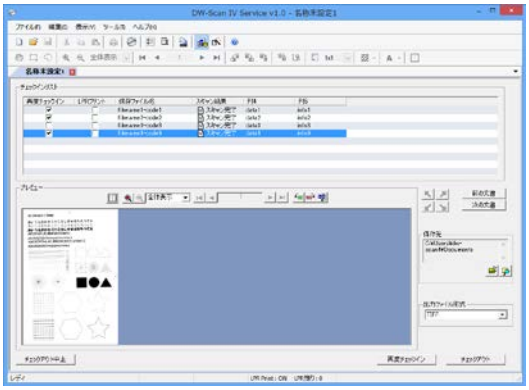
Note:1 ページしか読み込んでいない場合は、シングルページとして処理されます。マルチページの場合、アイコン表示は として表示されます。

Note: マルチページで読み取り中に「読み取り中止」ボタンをクリックした場合、マルチページ終了となります。

3.5 CSV 連携チェックアウト

チェックアウト画面について記述します。
環境設定で、「チェックアウト画面を表示する」を選択しない場合は、チェックアウト画面は表示されません。

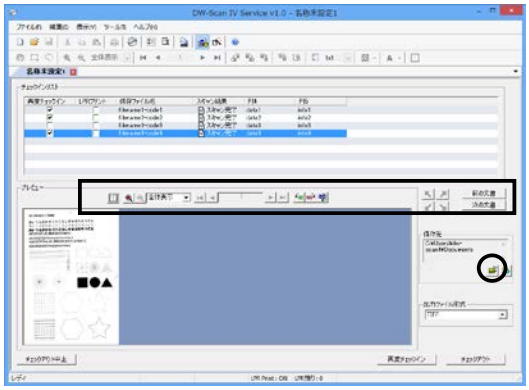
3.5.1 手順



(1) 3.3 を参照してチェックアウト画面に切り替えます。

(2) スキャン進捗情報ファイルの中から、チェックイン画面でスキャン完了したジョブがチェックインリストに表示されます。

(3) チェックインリストの行をクリックすると、読み込んだ画像が表示されます。



・「前の文書」、「次の文書」ボタンをクリックすると、表示するジョブが順番に切り替わります。

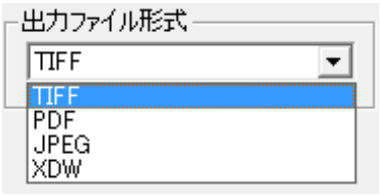
・マルチページで読み込んだ文書は、ページ移動ボタンをクリックすることで、各ページの画像を表示することができます。

・表示倍率、表示位置を指定して画像を表示させることができます。

・画像を回転して表示することもできます。但し画像の回転は保存データには反映しません。

・ をクリックすることで、プレビューのサムネイル画像の表示 / 非表示が切り替わります。

(4) をクリックすると、保存先フォルダを選択するウィンドウが開きます。

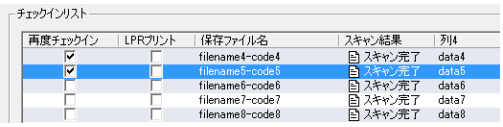


(5)「保存フォーマット」に TIFF/PDF/JPEG/XDW のいずれかを指定します。チェックアウトをする全ての文書がこのフォーマットで保存されます。

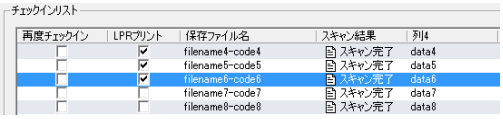
Note:DocuWorks が設置されていない場合は TIFF/PDF/JPEG の選択となり、XDW は表示されません。

Note: 赤黒画像を含むジョブがある場合、DocuWorks のバージョンによっては、XDW 形式では保存できません。詳しくは別冊の「DW-Scan IV Service Version 1.0 取扱説明書」をご覧ください。

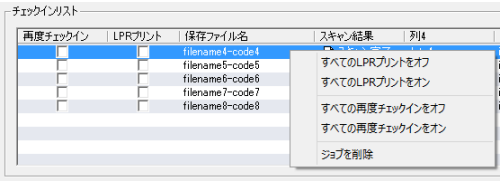
Note:JPEG 形式では、グレースケール画像またはフルカラー画像のシングルページファイルのみ保存できます。



(6) 読み取りに間違いが見つかったり、きれいに読み取れていない場合は、各ジョブの「再度チェックイン」チェックボックスをチェックします。

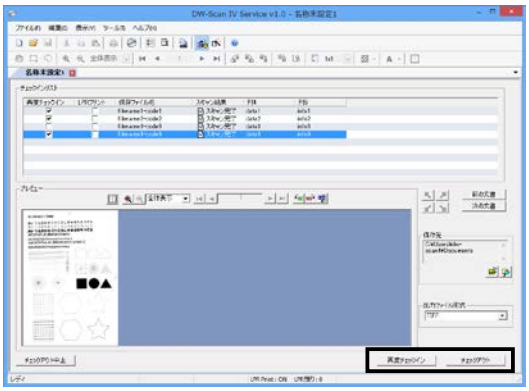


チェックアウト処理の際に、LPR プリントを実施する場合は、各ジョブの「LPR プリント」をチェックします。



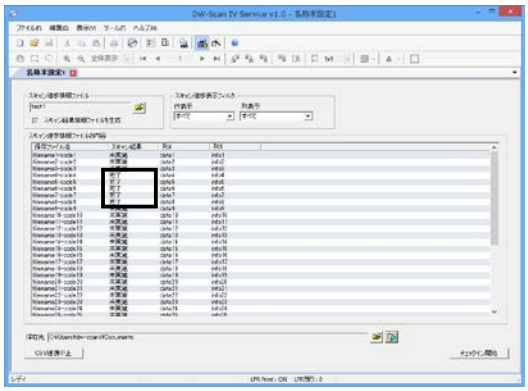
Note: リスト上で右クリックすると、すべてのジョブに対して、「再度チェックイン」、「LPR プリント」のオン / オフが指定できます。

「ジョブを削除」を指定すると、選択したジョブの削除が行えます。
削除したジョブはスキャン進捗情報で「未実施」となります。



(7) 読み取りに問題なければ、「チェックアウト」ボタンをクリックします。
チェックインリストに表示された全てのジョブが保存先に転送されます。スキャン結果情報ファイルを生成する指定の場合は、スキャン結果情報ファイルも保存先に転送されます。

再度、読み取りを行うジョブがある場合、「再度チェックイン」ボタンをクリックします。
再度チェックインについては、「3.6 CSV 連携再度チェックイン」を参照してください。



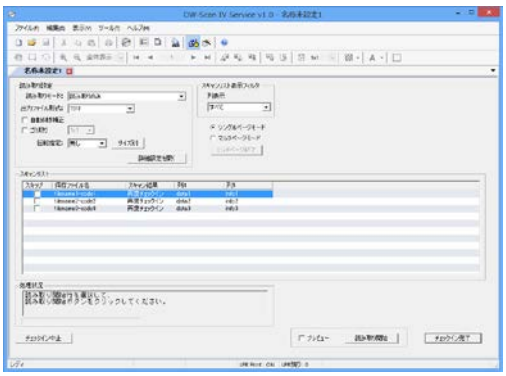
(8) チェックアウト処理が終わると、画面は最初の CSV 連携画面に切り替わり、先ほどチェックアウトを行ったジョブは全てスキャン結果が「完了」になります。

Note：「未実施」が残っている場合、「チェックイン開始」ボタンをクリックすることで、引き続きチェックインから作業を始めることができます。

3.6 CSV 連携再度チェックイン

再度チェックイン画面について記述します。

3.6.1 手順

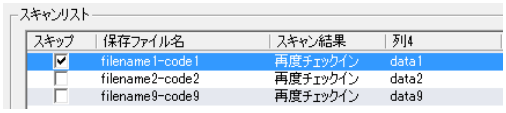


(1) 3.5 を参照してチェックアウト画面で「再度チェックイン」ボタンをクリックすると再度チェックイン画面に切り替わります。

(2) チェックアウト画面で、再度チェックインに指定したジョブが抽出されてスキャンリストに表示されます。各ジョブの「スキャン結果」は「再度チェックイン」として表示されます。

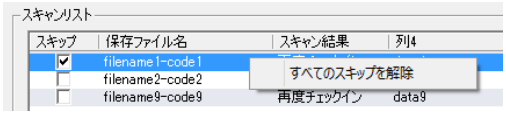
(3) 読み取り設定 / 詳細設定などを必要に応じて変更します。

Note: 読み取り設定 / 詳細設定の内容は、通常のチェックイン画面と同じです。

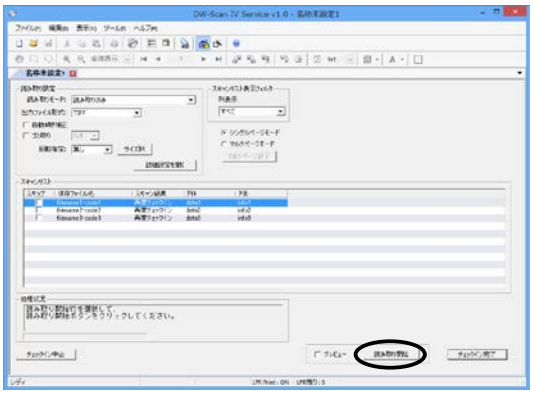


(4) 各ジョブの行「スキップ」をチェックすると、そのジョブの読み取りは自動的にスキップされます。

Note: 読み取りする原稿がない場合などに使用します。

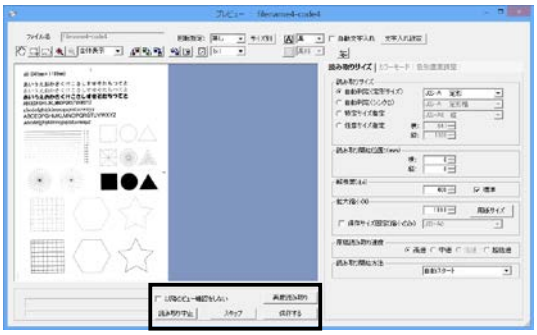


Note: リスト上で右クリックすると、「すべてのスキップを解除」が実行できます。チェックしたすべてのジョブのスキップ解除を簡単にすることできます。



(5) 原稿の読み取り後、保存する前に画像を表示して確認したい場合は、「プレビュー」をチェックしてください。読み取りを開始するジョブの行を選択して、「読み取り開始」ボタンをクリックします。

Note: 読み取りを開始した後は、開始するジョブの行やスキップ指定は変更できません。



(6) スキャナ機器に原稿を挿入し、読み取りを行います。

(7) 「プレビュー」にチェックがある場合、原稿の読み取り後にプレビューが表示されます。

「保存する」
　読み取りを保存して次のジョブに移ります。
　(マルチページ読み取り中は、次のページに移ります。)

「再度読み取り」
　読み取りを破棄して、もう一度読み取りを行います。
　（ジョブは次に移りません）

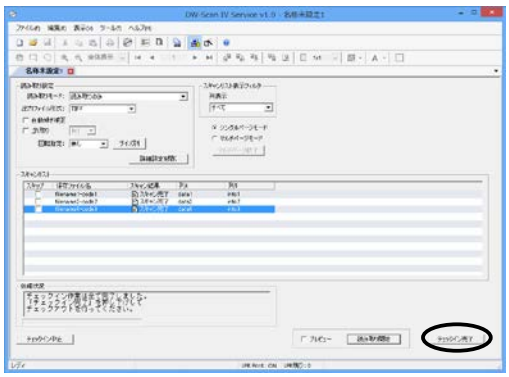
「スキップ」
　読み取りを破棄してスキップします。
　（ジョブは次に移り、そのスキャン結果はスキップとして表示されます）

「読み取り中止」
　読み取りを破棄して読み取りを中止します。（ジョブは次に移りません）

「以降のビュー確認をしない」
　チェック時、以降の読み取りはビュー確認無しで読み取り、保存を行います。

をクリックすると、詳細設定パネルの表示 / 非表示が切り替わります。

Note:CSV 連携のプレビューウィンドウでは、ファイル名の変更はできません。
その他の操作については別冊の「DW-Scan IV Service Version 1.0 取扱説明書」をご覧ください。



(8) 順次スキャナ機器に原稿を挿入し、読み取り / 保存します。スキャンリストのスキャン結果は「スキャン完了」に切り替わっていきます。

(9) 全ての読み取りが終わったら、自動的に読み取りが中止されます。
途中で読み取りを中止する場合は、「読み取り中止」ボタンをクリックします。

読み取ったジョブを保存する場合、「チェックイン完了」ボタンをクリックします。

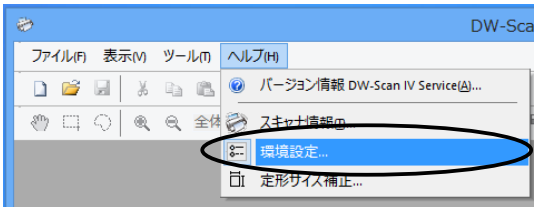
「チェックイン完了」により、スキャン完了したジョブの読み取りは新しいものに取り代わり、チェックアウト画面に切り替わります。

(10) 「チェックイン中止」ボタンをクリックすると、チェックアウト画面に切り替わります。この場合、再度チェックイン画面でスキャン完了したジョブの読み取りデータは全て破棄され、再度チェックインする前の読み取りデータに戻ります。

3.7 ヘルプメニュー

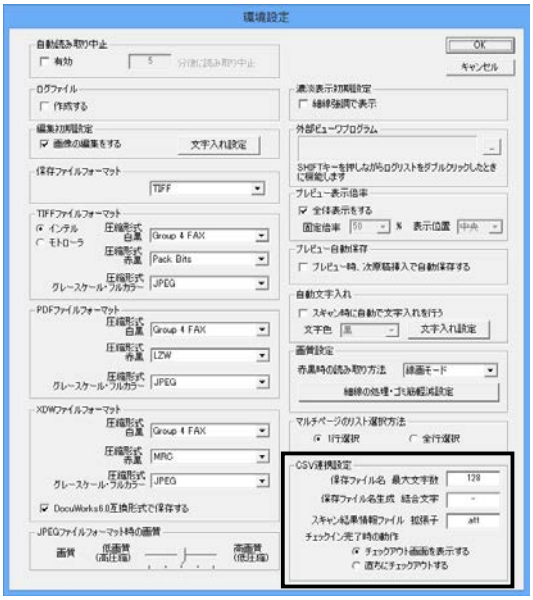
CSV 連携に関する環境設定について記述します。

3.7.1 環境設定 (CSV 連携設定)



(1)「ヘルプ」メニューから「環境設定」を選択します。

Note: ツールバーの環境設定ボタンでも同様の操作ができます。



(2) 環境設定ダイアログが表示されます。CSV 連携に関する設定は、右下にあります。

(3) 保存ファイル名　最大文字数

保存名に使用するファイル名の文字列の制限値を指定します。

指定可能な範囲は 32 文字以上 256 文字以内です。

(4) 保存ファイル名生成　結合文字

スキャン指示情報ファイルの列を組み合わせてファイル名を生成する際に結合する文字を指定します。

空文字は指定可能ですが、ファイル名に使用できない文字 (\ / : , ; * ? " < > | ¥ ~) は指定できません。

(5) スキャン結果情報ファイル　拡張子

スキャン結果情報ファイルの拡張子を指定します。

ファイル名に使用できない文字は、指定できません。

(6) チェックイン完了時の動作

チェックイン画面で「チェックイン完了」ボタンをクリックしたとき、チェックアウト画面を表示させるかどうかを指定します。

「チェックアウト画面を表示する」を指定してる場合、チェックアウト画面が表示され、保存の前に読み取ったジョブを確認することができます。

「直ちにチェックアウトする」を指定している場合、チェックアウト画面を表示しないで、すぐにチェックアウトが実行され、読み取ったジョブは保存されます。

第 4 章 エラーメッセージ

4.1　エラーメッセージ一覧

4.1 エラーメッセージ一覧

4.1.1 CSV 連携設定ウィザード

◆スキャン指示情報ファイルを指定してください。スキャン指示情報ファイルを開くことができません。

［原因］

指定したスキャン指示情報ファイルが他のアプリケーションで開かれているか、使用しているコンピュータのユーザに読み取り権限がありません。

［対処］

他のアプリケーションで開いているスキャン指示情報ファイルを閉じてください。

スキャン指示情報ファイルのアクセス権が、使用しているユーザに読み取り可能になっているかを確認してください。

◆スキャン指示情報ファイルを指定してください。スキャン指示情報ファイルのフォーマットが不正です。

［原因］

指定したスキャン指示情報ファイルのフォーマットが正しくありません。

CSV 形式で保存された、最低 1 行 1 列のデータが必要です。

［対処］

スキャン指示情報ファイルのフォーマットを正しいものにしてください。

◆ファイル名に使用できない文字が含まれています。

\ / : ; , * ? " < > | ¥ ~

［原因］

保存ファイル名の指定で指定した列のデータに、ファイル名に使用できない文字が含まれているため、保存名として使用できません。

［対処］

スキャン指示情報ファイルの保存ファイル名に使用するデータを正しいものにするか、保存ファイル名に使用する列を他の列に変えてみてください。

◆ファイル名は空文字にできません

［原因］

保存ファイル名の指定で指定した列のデータに、空文字があるため、保存名として使用できません。

［対処］

スキャン指示情報ファイルの保存ファイル名に使用するデータを正しいものにするか、保存ファイル名に使用する列を他の列に変えてみてください。

◆同名のスキャン進捗情報ファイルがすでにあります。上書きしますか？

［原因］

スキャン指示情報ファイルから、スキャン進捗情報ファイルは作成されますが、その名前はスキャン指示情報ファイルの名前が適用されます。

［対処］

「別名で保存」をクリックすると、新しい名前を入力するウィンドウが表示されるので、名前を指定して保存します。「上書き」をクリックした場合は、すでに存在するスキャン進捗情報ファイルは、削除された後、新しいものに置き代わります。

スキャン作業中の情報などは全て失われてしまいますので、ご注意願います。

◆指定したスキャン進捗情報ファイルは現在使用中のため上書き保存できません。

［原因］

保存しようとした同名のスキャン進捗情報ファイルが、現在開かれているため、上書き保存できません。

［対処］

別名で保存するか、一旦ウィザードを終了し、開いているスキャン進捗情報ファイルを閉じてください。

第 5 章 注意 / 制限事項

5.1　注意 / 制限事項

5.1 注意 / 制限事項

5.1.1 スキャン指示情報ファイルの列数

スキャン指示情報ファイルの列数は最大 256 列までしか使用できません。256 を超える列は無視され、列選択の画面に表示されません。

5.1.2 スキャン結果情報ファイルの拡張子

スキャン結果情報ファイルの拡張子に、「.tif」、「.pdf」、「.jpg」、「.xdw」は使用できません。

5.1.3 データ転送中のシングルページ、マルチページ切り替え

DocuWide 9095 αからのデータ転送中にシングルページモードから、マルチページモードへ切り替えを行うと、転送中のデータからマルチページに変更されます。

同様に、データ転送中にマルチページモードから、シングルページモードに変更すると、転送中のデータからシングルページに変更されます。

5.1.4 MS-DOS デバイス名

MS-DOS デバイス名 (con、aux、lpt、prn、nul、lpt1 ～ 9、com1 ～ 9) はファイル名として使用できません。
指定を行った場合は「指定されたファイル名は、MS-DOS デバイス名です。MS-DOS デバイス名は、予約語であり、ファイル名として使用できません。」とエラーメッセージが表示され保存を行う事が出来ません。

5.1.5 「DW-Scan IV Service」のバージョンについて

DW-Scan IV Service 及び CSV 連携 KIT のバージョンは、必ず合わせてご使用ください。バージョンが異なる場合、CSV 連携 KIT は稼動しません。

索引

数字

1 行目をスキップ 18

アルファベット

C

CSV 連携マルチページの読み取り 30
CSV 連携チェックアウト 31
CSV 連携チェックイン 26
CSV 連携の開始.....24
CSV 連携設定ウィザード 16
CSV 連携中止.....25
CSV 連携読み取りを開始する 23

D

DocuWide 9095 α 3,44
DocuWorks..... 26,32

J

JPEG..... 26,32

L

LPR プリント 32

M

MS-DOS デバイス名..... 19,44

P

PDF..... 26,32

T

TIFF..... 26,32

W

Windows 7..... 4,11,14,21
Windows 8..... 4,11,14,21
Windows 8.1 4,11,14,21
Windows Server 2003 R2..... 5,11,14,21
Windows Server 2008 5,11,14,21
Windows Server 2008 R2..... 5,11,14,21
Windows Vista..... 4,11,14,21
Windows XP 4,11,14,21

X

XDW 26,32

かな

あ

アンインストール..... 10,11,12,14

い

以降のビュー確認をしない 35
以降の処理を自動処理する 16
インストール.....8,9

え

エラーメッセージ.....40

か

拡張子.....37
環境設定..... 19,29,31,37
完了 25

け

結合文字..... 18,37

さ

サムネイル.....31
再度チェックイン..... 30,32,33,34
再度読み取り..... 28,35
最大文字数.....37

し

システム管理者.....8,12
ジョブを削除.....32
シングルページモード 26,30,44
出力ファイル形式.....26
詳細設定パネル.....27,28,35
詳細設定を開く.....27
詳細設定を閉じる.....27

す

スキップ..... 27,28,34,35
スキャンファイル毎に生成する 22
スキャン完了..... 29,30,31,36
スキャン結果.....25,28,30,33,34,35
スキャン結果情報ファイル .....
20,21,22,23,25,33,44
スキャン指示情報ファイル .....
2,16,17,19,37,40,41,44
スキャン進捗情報ファイル .....
2,11,14,19,23,24,25,26,31,41
スキャン進捗情報ファイルを削除.....24
全ての列を解除.....18,19,21
全ての列を選択.....18,19,21

た

直ちにチェックアウトする 29,37

ち

チェックアウト.....33
チェックアウト画面 34,36,37
チェックアウト画面を表示する .29,31,37
チェックイン画面.....25,26,30
チェックイン開始..... 25,33
チェックイン完了.....29,36,37
チェックイン完了時の動作 29,37
チェックイン中止..... 29,36

て

テンプレート..... 2,11,14,16,22,23
テンプレートを使用して登録 16
データ転送中.....44

ひ

表示フィルタ 24

ふ

ファイル名に使用できない文字 .19,37,40
プレビュー.....27,28,35
プレビューウィンドウ 28,36

へ

ページ追加中.....30

ほ

保存する..... 28,35
保存ファイル名.....18,21,23,37,40,41
保存ファイル名の位置 21

保存フォーマット.....32

ま

マルチページモード 30,44
マルチページ終了.....30

み

未実施.....25,32,33
未実施完了.....25

ゆ

ユーザーアカウント制御 8,12

よ

読み取りモード.....26
読み取り開始..... 27,35
読み取り設定ファイル 17
読み取り設定を指定する 17
読み取り中止.....28,29,30,35,36

ら

ラベル..... 11,14,21,23

れ

列から指定しないで自動生成する.....18
列にデータを付加する 22
列の並びをリセット 18,19,21
列名の変更.....18,19,21